

回生 ニュース

K a i s e i N e w s

社会医療法人 峰和会

83号

2015.7月発行

発行/社会医療法人 峰和会
編集/鈴鹿回生病院
所在地/鈴鹿市国府町112番地1
TEL/059-375-4212
FAX/059-375-1717
URL/http://www.kaiseihp.com
編集協力/TCKnagoya

- 1 医療の現場から
「初期臨床研修医」
- 2 あなたの街のお医者さん
「玉田内科循環器内科」
- 3 鈴鹿回生病院診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院専門外来担当医師一覧表
- 4 交通案内(三重交通バス・シャトルバス時刻表)
鈴鹿回生病院附属クリニック診療担当医師一覧表
鈴鹿回生病院附属クリニック専門外来担当医師一覧表
- 5 健康コーナー「医食動源」
・ロコモシリーズ ~ロコモティブシンドロームとは?~
・アスパラと味噌マヨディップ
- 6 回生.com
「ドクターズリスト」副院長 荒木朋浩
- 7 Information

ほっと smile 他

夏祭り

開催いたします!

Suzuka Kaisei Hospital Summer Festival 2015

今年も夏祭りを開催いたします。今回は鈴鹿市内でご活躍されているリコーダーアンサンブル レ・ピポーの皆さんをお招きしミニコンサートを開催いたします。他にも職員による三味線演奏や健康相談、レクリエーションなど楽しい催しを企画しています。皆様のご参加をお待ちしております!

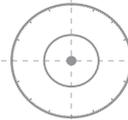
日時

平成27年 8月1日(土) 14:00~

場所

病院1階総合受付前





初期臨床研修医



6名紹介

junior resident

今年、6名の医師を迎えました。
明日を担う若い医師を紹介いたします。

QUESTION 3

- Q.1 医師を目指したきっかけ
- Q.2 研修病院に回生病院を選んだ理由
- Q.3 後輩へ向けてメッセージ



佐々木 拓
(ささきたく)

Q1 スポーツによる怪我でよく整形外科にお世話になっていました。辛い思いをしている時、優しく頼りがいのある先生の姿に憧れたのがきっかけです。

Q2 三重県の病院で一番雰囲気がいいと感じました。忙しくても楽しく頑張れる病院だと思います。

Q3 これから1年後、2年後の皆さんの姿が今の私たちです。で見学に来て色々質問してください。



池田 麻依
(いけだ まい)

Q1 祖母が病を患い病院を受診した際に、先生の言葉でとても安心して帰ってきたことが何度もありました。そんな祖母を見て、こんなに不安を取り除けるお医者さんってすごいなと感じたことがきっかけです。

Q2 病院見学に来た際、研修医の先生方が生き生きと働かれており、雰囲気がとてもよかったからです。

Q3 研修先...迷いますよね。ぜひ一度見学に来てください。雰囲気の良さ、研修の質、必ず伝わると思います。



早川 萌
(はやかわ もえ)

Q1 子供の頃からアトピーで、何度も皮膚科を受診していました。アトピーに苦しむ私に優しく接して下さった先生に憧れ、私も病に苦しむ人々に寄り添える仕事をしたいと考えようになりました。

Q2 病院見学に来た際、マンツーマンで熱心に指導を受けている研修医の姿が印象的で、この病院なら医師としての基礎がしっかりと築けると思ったからです。

Q3 ぜひ一度見学に来てみてください。必ず明るく居心地の良い雰囲気を感じてもらえると思います。



板橋 大介
(いたばし だいすけ)

Q1 子供の頃から病気や健康、体の仕組みについて興味がありました。一度大学を卒業し働くようになってから医学への興味や、医師になりたいという想いが次第に強くなっていき医学部へ再度入学しました。

Q2 見学に来たとき、病院の雰囲気、スタッフの温かさ、研修医室の広さに強く惹かれここで働きたいと強く思いました。実際に働いてみて印象どりの病院で研修先を選んで本当に良かったと思っています。

Q3 病院の雰囲気や活気など文章では伝えきれない魅力がたくさんあると思います。是非一度見学に来てください。



谷口 孝司
(たにぐち たかし)

Q1 間近に医師である父や叔父が居た事もあり、物心ついた時から医師になりたいと思っていました。二人のような立派な医師になれるよう、日々頑張っています。

Q2 病院の雰囲気が良いだけでなく、マンツーマンで指導していただけるなど教育熱心なところに惹かれました。

Q3 大学が県外なので少し心配していましたが、全くの杞憂でした。皆さんと仕事できる日を心待ちにしています。



宗吉 佑樹
(むねよし ゆうき)

Q1 僕が中学、高校生の時に三重県の医師不足が深刻で少しでも力になればと思い医師を目指しました。また人の命に直接かかわる仕事でやりがいがあると思いました。

Q2 実習や病院見学に来た時の研修の雰囲気や忙しさの程度が自分に合っていると思いました。また実家から近く、通勤などの負担も考慮して選びました。

Q3 研修プログラムの自由度が高く、のびのびと研修できると思います。ぜひ当院へ来てください。

連携医療機関紹介

玉田内科循環器内科



▲ 院長の玉田 浩也先生

80年の歴史を刻むクリニック

玉田内科循環器内科は古くからの閑静な住宅街にあります。エントランスをくぐると、全面バリアフリーのスタイリッシュで落ち着いた雰囲気の待合が広がります。



院長の玉田浩也先生は、平成6年(1994年)三重大学医学部をご卒業後、三重大学医学部第一内科へ入局されたのち、松阪中央総合病院、山田赤十字病院(現伊勢赤十字病院)、三重大学附属病院病棟主任、集中治療部副部長などを経て、平成24年2月、生まれ育ったこの地に開業されました。元々、昭和10年ご祖父さまが「玉田醫院」(ご祖母さまも医師)を、昭和47年にはご尊父さまが「玉田内科」を開院されましたが、ご祖父母さまの築いた「玉田醫院」はご祖母さまのご逝去により昭和62年に閉院。ご尊父さまの築いた「玉田内科」もご尊父さまの急逝により平成元年に閉院しました。ですので、約20数年間、医院は閉院状態であり継承というよりは新規開業に近い再スタートだったと言えます。ご祖父さまは米国スタンフォード大学をご卒業され、米国での生活が長かったそうで、敷地内に今でもある洋館の佇まいの「玉

田醫院」に名残を感じます。奥様もまた医師で、ゆくゆくは2診体制で診療される予定だとか。現在、浩也先生を筆頭に看護師2名、事務3名の6人体制で診療しています。



創設当時の医院(昭和10年)

町医者役割

鈴鹿市医師会長の西城先生など、ご親戚の9割が医師という環境で、みな地域に密着した開業医。その中で先生はごく自然に医師の道へ進まれました。

「循環器内科、主に心血管カテーテル治療に携ってきました。深夜の緊急呼び出し、不眠不休の当直は大変でしたが、お陰様で、大学院、留学、病棟医長、臨床研究、救急医療、卒前卒後教育など様々な経験をさせて頂き、その都度違った視点から医学・医療を考えさせられる機会に恵まれ、かけがえのない人脈を得ることができました。設備の整った環境下で大勢のスタッフと第一線の臨床に励む事は性に合っておりましたが、物心ついた頃から『町医者』として休み無く働く祖母、父の姿を自然な景色として見てきた私は、先代から受け継いだものを次世代に繋ぐことが使命だと常に感じていましたので、不惑の年を機に開業しました」。

現在は、ご近所さんはじめ、かつての同級生や幼なじみ、そのご家族といった懐かしい顔ぶれが来院され、診療を通じての情報交換や地域とのふれあいによって、この地域にどういった医療活動が必要なのかを考えさせられるのだそうです。また地域医療を充実させる上で重要な病診連携については、「基幹病院で高度な医療を担う医師達が、本来の職務に全う出来るように、開業医として出来る医療に責任を持って取り組んでいます。そのひとつが在宅医療です。今後益々問題化する少子高齢化社会に対し、鈴鹿市医師会は早くから取り組み、行政や多職種との連携協力を

DATA

TEL 059-381-0011

住所

鈴鹿市西条1丁目17-15

診療科目

●内科 ●循環器内科

診療時間

午前／9時00分～12時00分

午後／3時30分～7時00分

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	×
午後	○	○	○	×	○	×	×

休診日

木曜午後、土曜午後、日曜、祝日



制により、地域包括ケアシステムが構築され機能していますが、私は在宅医療の他、応急診療所当番、緊急夜診や看取り、産業医や学校医にも取り組んでいます。これら『出向く医療』を精力的に行う事は、基幹病院の負担を軽減し、ひいてはスムーズな病診連携の構築に繋がっていくものと考えています」。

患者さんへのメッセージ

～この地域に生まれ、育て頂いた事への感謝を忘れず、皆様に少しでも貢献できればと思っています。今、困っている患者に一番近くで迅速に対応し、解決に導くことが町医者の使命であり、患者さんがコンビニ感覚で気軽に利用出来る事がクリニックの存在意義であると考えています～

今後も、この地域の頼れる町医者として、ご活躍されることでしょう。



ロコモシリーズ ロコモティブシンドロームとは？



理学療法士
南 隼人

ロコモティブシンドロームとは、(以下ロコモ) 骨、関節、軟骨、椎間板といった運動器のいずれか、もしくは複数に障害が起き、歩行や日常生活に何らかの障害をきたしている状態をいいます。昔からの言い方で言うと「足腰のおとろえで動けなくなってしまう状態」をいいます。いつまでも自分の足で歩き続けていくために、ロコモを予防し、健康寿命を延ばしていくことが大切です。今シリーズはロコモについてのチェックと予防体操を紹介していきます。



LOCOMO

7つのロコチェック



CHECK

- | | |
|--|--------------------------|
| 1 片脚立ちで靴下がはけない | <input type="checkbox"/> |
| 2 家の中でつまずいたり滑ったりする | <input type="checkbox"/> |
| 3 階段を上するのに手すりが必要である | <input type="checkbox"/> |
| 4 家のやや重い仕事が困難である(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど) | <input type="checkbox"/> |
| 5 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難である(1リットルの牛乳パック2個程度) | <input type="checkbox"/> |
| 6 15分くらい続けて歩くことができない | <input type="checkbox"/> |
| 7 横断歩道を青信号で渡りきれない | <input type="checkbox"/> |

上記のチェック項目に1つでも当てはまるとロコモの心配があります。次号よりロコモ予防体操についてお伝えします。

発信@ 栄養管理室

管理栄養士
北林 明代



ア ピックアップ食材 スパラ



味噌マヨディップ

●アスパラガスの特徴と栄養

アスパラガスは葉酸を多く含み、ビタミンも豊富な緑黄色野菜です。葉酸は細胞分裂には欠かせない栄養素で、特に成長期の子供や妊婦のように細胞分裂が盛んな時期に必要とされます。また、動脈硬化を予防する働きもあります。アスパラガスなら4-5本摂取するだけで葉酸の一日摂取目標量をクリアすることが出来ます。ただし、妊婦は通常時の倍程度、授乳婦は1.5倍の量が必要とされますので、ブロッコリーやニラ、枝豆、ほうれん草、モロヘイヤなど緑黄色野菜に多く含まれていますので、積極的に摂取すると良いでしょう。その名の通り、アスパラギン酸はアスパラから発見されたアミノ酸で、スタミナ強化や疲労回復に役立ち、栄養ドリンクにも利用されています。アスパラをゆでるときは小さく切らず、なるべく長いままゆでると葉物野菜よりビタミンCや葉酸の損失が少なくなります。

簡単にさっと出来るメニューですので、緑黄色野菜の摂取が少ない方の食卓に1品いかがでしょうか？

【材料】 (5人分)

- グリーンアスパラ …… 7-8本
 ミックス味噌 …… 小さじ2弱
 ねりごま(白) …… 大さじ1
 A マヨネーズ …… 大さじ1弱
 すりごま …… 小さじ2
 シーチキン …… 小缶1/3

【栄養成分】 1人分あたり

エネルギー	59kcal
たんぱく質	2.7g
脂質	4.6g
塩分	0.4g
食物繊維	1.0g

【作り方】

- ①アスパラは根元を手で折り、袴が気になる場合は取り除き、熱湯に入れ1-2分程度ゆでる
- ②①をさっと水にさらし、水気を切っておく
- ③Aを全て混ぜあわせ、味噌マヨディップを作る
- ④お皿にアスパラとディップを盛り付けできあがり

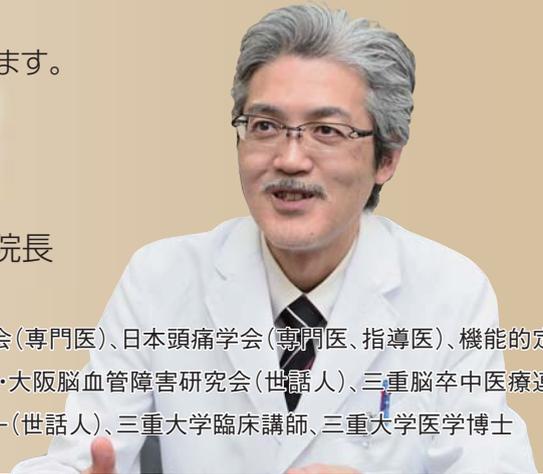
このコーナーでは毎号当院のドクターを紹介してまいります。

Doctors List

荒木 朋浩 あらき ともひろ 脳神経外科 副院長

専門領域:脳血管障害、脳神経外科一般

資格:日本脳神経外科学会(専門医、指導医、評議員)、日本脳卒中学会(専門医)、日本頭痛学会(専門医、指導医)、機能的定位脳手術学会(技術認定医) 東海くも膜下出血研究会(世話人)、三重・大阪脳血管障害研究会(世話人)、三重脳卒中医療連携研究会(幹事) 三重脳卒中フォーラム(世話人)、MMC 脳神経セミナー(世話人)、三重大学臨床講師、三重大学医学博士



Q1. 出身地はどちらですか? 幼少時の思い出を聞かせてください。

大阪市で生まれましたが、諸般の事情により生後6ヶ月で和歌山県有田郡清水町北の川という山奥に移り中学卒業までは田舎で暮らしました。小学校は全校生徒数が20名足らずで、複式学級でした。今はもう廃校になっています。自転車などで行ける距離には書店やスーパーなどが無いようなところでした。毎日、山や川を駆け巡っていました。



山や川を駆け巡った幼少期

Q2. なぜ医師をめざしたのですか?

そんな田舎なので、病院も当然ありませんでした。なんでもみられる?内科医が一人開業されているだけでした。今のようにドクターヘリもなく、脳卒中にせよ外傷にせよ、救急車にゆられ数時間かけて病院に向かわなければなりません。結果は当然よくないことがほとんどでした。そんな環境であったため少しずつ医師を志すようになっていきました。

Q3. 脳神経外科を専門にしたのはなぜですか?

いろいろな科があり、いずれも非常に大切ではありますが、脳は特に人として生きるための最高中枢です。これを脅かす病変に対して治療できる事に魅せられ脳神経系を扱う科をえらび、実際に神秘的な脳をみて脳神経外科だと確信しました。

Q4. 趣味や好きな事、(ストレス発散方法など)は何ですか?

音楽を聴きながらドライブしたり、本を読んだりすることは好きですが、なかなか時間がありません。一番無心になれる時間が手術中です。手術後に、元気になって帰られる姿がたまったストレスを一気に解消してくれます。それでいいと思っています。

Q5. 今後力を入れて行きたい事は何ですか?

脳卒中センターにSCUを開設したところですが、さらに人員や設備を整えまずは県下のセンターにしたいです。また、防災医療の担当もしておりますので、いつか来る災害に対する準備を整えていきたいです。

Q6. 紹介を希望する疾患を教えてください

脳血管障害全般特に脳動脈瘤と血行再建術です。三叉神経痛、顔面痙攣、脳腫瘍なども治療しております。

Q7. 学生時代の思い出をお聞かせください

中学、高校、大学と続けたスポーツはソフトテニスです。高校時代は、空手部を友人らと創部。1年だけで廃部となりましたが、県下の団体戦では優勝しました。高校の間、テニスは試合要員でした。大学も6年間テニスをつづけ幸運にも6年の夏に全医体に出場できました。文化部では意外にも中学時代は演劇部に属し主演を演じました。

残念ながら演劇部の写真はありませんが...
12年間続けたソフトテニス ▼



Message

患者さんへのメッセージ

畏怖の念を常に忘れずに
常に私のもっている力をすべてだして手術させていただきます。

生命の駅伝

生命の駅伝実行委員会主催のもと癌研究を支援する目的で、生命の駅伝が三重県内各地で開催されています。

5月21日(木)は桑名東医療センターを9時にスタートし各協力施設をまわりながら同日午後4時ごろ鈴鹿回生病院にゴールしました。今年は当院薬剤師の佐々木さんがランナーとして参加しました。当日は松島副院長をはじめ職員がゴールを見守り、患者さんにもランナーのお出迎えにご参加いただき募金箱の贈呈を行いました。



院内美化運動

6月20日(土)、職員による院内美化運動を行いました。当日はお天気

にもめぐまれ、大勢の職員が参加し花壇の草取りや溝掃除、木々の剪定作業等を実施しました。



看護の日

ナイチンゲール生誕の日(5月12日)を記念し、当院では、「看護の心は、みんなの心に」をテーマとして、5月13日に看護の日を設定しました。そこで、血圧測定・アロママッサージ・栄養相談を行いました。一般患者さん、入院患者さんの参加がありました。



かいせいきっず info

桜の花も終わり、若葉がいっせいに、木いっぱい広がった様子を表現しました。0才児から3才児までの子供たちのかわいらしい手型で元気いっぱいの葉っぱが広がっています。



ほっと smile

主治医とスリーショット



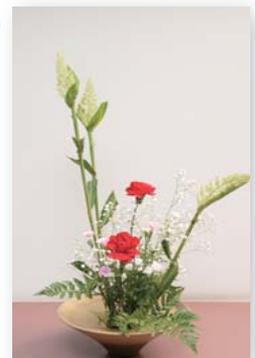
4月に人工股関節の手術を受けられた村山さんと永田さん、主治医の須藤医師です。お二人は同じ年齢で、同じ手術を受けられ、入院中にリハビリを介してお友達になりました。お二人いわく「リハビリ室の訓練だけがリハビリではありません。病室に帰っても1日4回の自主トレが大事です!」と日々励まし合ってリハビリを頑張っておられます。

自主トレの様子



編集後記

今回は「初期臨床研修医」を中心に、医療連携紹介などをお送りいたしました。皆さんから本誌へのご意見・ご感想・ご要望等がございましたら、広報委員会までお寄せください。



病院のボランティアの方に毎週美しく生けていただいております。(病院医局)

病院の理念

生命への奉仕

病院の方針

- ▶ 地域の基幹病院として医療と健康の増進に貢献します
- ▶ 個人の尊厳を守ります
- ▶ チーム医療を推進し医療の質を向上させます
- ▶ より安全で高度な医療を提供します
- ▶ 働きやすく健全な病院運営に努めます

鈴鹿回生病院 広報委員会

〒513-8505 三重県鈴鹿市国府町112番地1

TEL059-375-1212 mail:info@kaiseihp.com